

令和7年度 うさぎとかめ地域連携推進会議 議事録（要約）

事業所	共同生活援助 うさぎとかめ
開催日時	令和7年12月1日(月)13:30~15:50
開催場所	ホームいわき
参加者	利用者代表 1名 利用者の家族代表 1名 地域の関係者 1名 福祉に知見のある人 1名 行政関係者 1名 法人職員 5名（理事長、園長、事務長、地域支援課長、地域支援課主任）
会議内容	
1. 地域連携推進会議について	地域連携推進会議の役割や目的、内容等を説明
2. 法人及び事業所の概要、取組	<p>法人の沿革や理念、共同生活援助うさぎとかめの概要や取組について説明（意見や質問として）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【行政関係者】農福連携の実績はあるのか？ →【法人職員】今年度の実績はない。 ・【地域の関係者】成年後見制度とはどんな制度か？ →【法人職員】制度について説明 【法人職員】障害者の福祉サービス利用が契約制度になったとき、法人としては利用者と契約するため、保護者会を中心に成年後見制度の利用を進め、現在は8割の利用者が利用している。高齢者分野では利用が進んでいるが、障害者分野ではまだまだ利用は少ない。 ・【利用者の家族代表】施設入所とグループホームの振り分けについて、何か基準があるのか？ →【法人職員】利用者や家族の希望、本人に合った環境、空き状況などを考慮しながら利用先を決めている。 ・【利用者の家族代表】グループホームの利用者は軽度、施設入所の利用者は重度ではないのか？重度だといろいろと大変で、できないことも多いのではないか？ →【法人職員】入所とグループホームを軽度、重度で分けている訳ではない。障害支援区分というものがあり、支援の必要な手厚さの基準となる。重度だからできないということではなく、支援がどれくらい必要なのかということである。 ・【利用者の家族代表】グループホームへ行く話があったとき、どう思ったか？ →【利用者代表】発作があるので他の利用者に迷惑を掛けないか不安があったが、グループホームでやってみようと思った。愛心園に帰りたと思ったことはない。
3. 各委員からの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・【地域の関係者】地域で実施している祭りには協力してもらっているので、引き続き、協力してほしい。今後は防災訓練など、地域の一員として一緒に協

	<p>力しながら実施できたらと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【行政関係者】生活に関する困りごとを相談できる「くらしの相談会」や親子あとの備えについて解説する説明会の紹介 ・【福祉に知見のある人】上郡町社会福祉協議会が提供するサービスやイベント、ボランティア体験講座の紹介
4. 意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・【地域の関係者】愛心園は長い間、地域に関わることを積極的にされている。上郡町内でもこの地域でも愛心園が取り組んでいることは十分に周知されている。受け入れ側も自然に受け入れている。小学校との交流も長く続いている。それが今に繋がっていると思う。 ・【行政関係者】愛心園での成年後見制度の利用が8割と言われたが、どのように利用しているのか？ →【法人職員】当初は親族後見で進んでいたが、家族の高齢化に伴い、第三者や法人後見の利用が増えてきている。 ・【法人職員】赤松地区の防災訓練はどれくらいの頻度で実施しているのか？ →【地域の関係者】数年に1回実施している。子育て学習センターが避難場所になる。避難場所には備品を揃えているが、実際の避難を想定した時、高齢者や障害者の受け入れなどに課題がある。避難誘導は「共助」、自治会は住民のことを把握している。赤松地区は千種川の氾濫があるので、住民は災害に対して敏感であり、意識は高い。被災の経験を生かしていきたい。 ・【法人職員】防災の集まりに参加できるのであれば、ぜひ、参加したい。 →【地域の関係者】一緒にできたらよい。顔なじみになることが大切である。 ・【利用者代表】職員は利用者の困りごとを聞いてほしい。朝早くから職員が来ると困る。料理している時はマスクをしてほしい。 ・【利用者代表】グループホームでの食事はおいしく、満足している。
5. 施設見学	<p>ホームいわき、ホーム8りんぼ、ホームいいざか (意見や質問として)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【地域の関係者】地域連携推進会議の開催時期は12月が良い。秋だと地域のイベントと重なり、出席が難しくなる。また、利用者がいる時間帯に見学したい。 ・【地域の関係者】トイレやお風呂も含めて、掃除が行き届いておりきれいである。 ・【地域の関係者】生活するうえで危険な箇所がない。 ・【福祉に知見のある人】目の見えない利用者が使いやすいなど、個々に合ったきめ細やかな配慮を感じた。 ・【利用者の家族代表】以前はどこの施設もきれいではなく臭いもすごかったが、改修、改築による個室化できれいになって良かった。このままきれいに保ってほしい。 ・【利用者の家族代表】人材不足が心配である。人材の育成、次世代に繋げてほしい。ハードはできたがソフトができない状態になる。 ・【利用者代表】利用者同士が話し合える場がほしい。
その他	<p>利用者が生活している様子をもっと見てもらえるように、次回の時間設定等を考えていく。</p>